

特集

スポーツ DE 交流

「どんなことをしてみたいですか?」と、当協会の登録ボランティアの皆さんにアンケートや研修会で問いかけたところ、「外国人市民やいろいろな人とスポーツを通して交流してみたい」という意見が出てきました。そこで「スポーツの秋」にちなみ、さまざまな人と「スポーツで交流」する方法について、ご紹介します。

川崎市国際交流協会の事業 「ボッチャで多文化交流」

スポーツで交流するイベントとして「誰でもできるスポーツは何か」と考え、パラリンピックの正式種目でもある「ボッチャ」を5月17日(土)にみんなで行いました。

「ボッチャ」を知らない、やったことがない人たちに、やってみようとしてもらうには少しハードルがあったようですが、実際にやってみると誰でも楽しむことができるスポーツでした。

川崎市のボッチャチーム「川崎ボッチャレ」の方々が、コート毎に指導してくださり、参加者全員が楽しく体験できました。

小学生、普段ボッチャをやっている高齢の方、車いすの方、また、ボッチャは初めての外国人市民や親子の参加もあり、10代から80代までの多様な人たちが参加し、会場のホールは熱気にあふれていました。「外国につながる子どもの寺子屋」に来ている子どもたちも参加し、協力しあいながら楽しそうに体験する姿を見ることができました。

今後もスポーツなど一緒に体を動かしながら楽しく交流できるイベントを開催していきたいと思います。

(文・写真撮影:川崎市国際交流協会 猿田 由貴江)



川崎ボッチャレについて

パラスポーツとして、川崎市職員を対象としたボッチャ体験会を行い、そこで興味を持ったメンバーで2019年に設立したチーム。市内の小学校で週1回ほどのペースで練習しています。

https://www.instagram.com/kawasaki_bocciale/

民間団体の活動に参加

川崎ペタンク・ブル ～ペタンクの楽しさを広めたい～

世界ペタンク・ブル連合 (<https://wpbf-fmbp.org>)

日本ペタンク・ブル連盟ゲーム方法 (<https://fjpb.web.fc2.com/game/game-yougu.html>)

Pétanqueはフランス発祥のスポーツで、世界中(ヨーロッパおよび旧フランス領を中心)で楽しんでいるファミリースポーツです。ペタンクからの派生種目として、インドアペタンク(幼児、老人施設、軽度障がい者用)、ボッチャ(重度障がい者用)があり、カーリングはペタンクのボールがストーンに変わった種目です。

公園および川崎市国際交流センターの多目的広場で、毎月最終日曜日の13時～16時、20代から80代までの男女でゲーム形式で楽しんでいます。国内外の国際ペタンク連盟コーチ、世界選手権出場者等が協力し、レベルに応じた普及・スキルアップ活動を行っています。

参加するのに特に必要なものはありませんし、老若男女、年齢制限なしで、誰でも簡単に楽しめます。お気軽にご参加ください。



問合せ

川崎ペタンク・ブル 代表:藤田 雅久
mafujita@gray.plala.or.jp ☎090-8516-4527

魂刀流志伎会 ～剣は、ひとをつなげる。～

当会は、全国各地に活動拠点ががあります。国内における活動の充実を図りつつ、定期的に外国人の方に向けた体験会や海外公演にも取り組んでいます。

2025年の事例では、4月に麻生区内において、ハンガリーから来られた剣術愛好家の皆さんと一緒に稽古をしました。素振りや型といった伝統的な稽古から、動画作品の撮影などエンタメに近い分野まで、幅広く「日本文化」を楽しんでいただけるような交流機会の充実を目指しています。

またこの夏には、インドネシアで開催される文化交流事業に日本代表として参加してまいりました。これからも国内外問わず、さまざまな場所で「剣を通じたつながり」を育んでまいります。



問合せ

一般社団法人 魂刀流志伎会 代表:戸沼ノ智貴
 ☎090-8753-7957

ボランティア活動を通して「スポーツDE交流」

今シーズンのアジアNo.1を決める大会「AFCチャンピオンズリーグエリート2024/25」に川崎フロンターレが出場しました。等々力陸上競技場で行われたホームゲームで、対戦国となる「中国・韓国・オーストラリア」から来場される観客やサポーターの文化や言葉の壁といった課題を解決し、試合観戦を十分にお楽しみいただけるように川崎市国際交流協会の通訳ボランティアの方々に活動していただきました。ボランティアの皆さんには主にチケット販売窓口やビジター入場口などでご活躍いただき、「安心・安全・快適」なスタジアム観戦環境の創出に連携することができました。ビジターサポーターの笑顔と、触れ合いを楽しまれる通訳ボランティアの笑顔が印象的で、素晴らしい光景でした。

(文:川崎フロンターレ 川島 一夫)



中国チームサポーターからのチケット購入のお問い合わせに対応する通訳ボランティア



入場ゲートでは通訳対応を行いながら中国チームサポーターへ日本の折り鶴をプレゼント

参加ボランティアの感想

このボランティア活動は、ゲートや案内所でオーストラリアチームサポーターのコミュニケーションを助けるのが主な目的でした。約2時間の活動で、メンバーのナフルさん(バングラデシュ出身)と英語で会話し、彼がサッカーファンであることを知ることができたり、新しい出会いや交流を体験できました。

(文:川崎市国際交流協会「生活にほんごサロン」(注)サポーター 会場 清彦)

(注)生活にほんごサロンは、1対1で外国人市民の日本語をサポートするボランティア活動。

川崎の民間団体の活躍！

昨年12月4日、「AFCチャンピオンズリーグエリート2024/25」でフロンターレ対中国山東泰山の試合が開催され、心曲悠悠合唱団は試合前のイベント「アジアキャッチランド」に参加しました。ステージでは、中国の歌や楽器を紹介し、観客たちも自らステージに上がり、打楽器を体験しました。その後、山東泰山チームの応援歌やアジア北京大会のテーマソングなどを歌い、会場の気分を盛り上げました。また、中国伝統文化の切り絵体験教室を開き、「サッカーボール」と祝い文字の「囍(そうき)」の切り絵を体験してもらうことで中国切り絵の魅力を紹介しました。

今回のイベントは日本側だけでなく、中国のSNSサイトでも「対戦チームから中国文化が紹介された!」「さすがフロンターレ!」など書き込まれ、スポーツを通しての交流が評価された活動となりました。

(文・写真提供:心曲悠悠合唱団 黄 程陽)



ステージに上がる心曲悠悠合唱団の人たち



中国伝統の切り絵体験教室

して「スポーツDE交流」

フットメザ・ジャパン

フットメザはブラジル生まれのサッカーゲームです。机の上で行うサッカーだから、フットボール(Futebol=サッカー)とメザ(Mesa=机)を併せてフットメザ(Futmesa)なのです。100年前のブラジルでサッカー大好き少年たちが、洋服のボタンをサッカー選手にみたくて遊んだのが始まりとされています。戦略を立て、ボールをコントロールしてゴールを狙う感覚はサッカーそのものです。国籍、年齢、体格の差も関係なく思いっきり競い合えるのもフットメザの大きな魅力の一つです。私たちは2007年から川崎国際センターを中心に活動を続けています。月1回講習会を開催していますので、ぜひ、一緒にプレーしましょう!



問合せ

フットメザ・ジャパン 代表:ハーレー・田中 硬一
<https://futmesa.net/> ☎info@futmesa.net

NPO法人ファンズアスリートクラブ

私たちは川崎区で総合型地域スポーツクラブを運営しています。カルッツかわさきで行っている幼児向けの「キッズ体操」、小学生低学年向けの「ジュニア体操①②」の3クラスには日本人と一緒に外国籍のキッズ・ジュニアが多数参加しています。中国、韓国、インド、フィリピン、ベトナムなどの子どもたちが多いです。子どもたちを待つ保護者や弟、妹のために皆様から寄贈された絵本や児童書を無料で読書できる空間「カルッツSDGs図書館」もオープンしています。スポーツ教室を通して川崎区の外国人の方たちのコミュニティが少しずつ出来ています。

カルッツSDGs図書館



いろいろな国の絵本があります



キッズ体操の様子

問合せ

NPO法人ファンズアスリートクラブ 会長:井上 秀憲
☎postmaster@funssports.com ☎070-6401-9223